

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 8 月 18 日現在

機関番号：12601

研究種目：若手研究(A)

研究期間：2014～2017

課題番号：26704007

研究課題名(和文) アジア地域史研究資源としてのポルトガル編年史料典籍とモンスーン文書の研究

研究課題名(英文) Portuguese chronicles and Livro das Moncoes as sources to study Asian regional history

研究代表者

岡 美穂子(Oka, Mihoko)

東京大学・史料編纂所・准教授

研究者番号：30361653

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、全般的に文字資料が少ないと言われるアジア史の情報源として、ポルトガルの公文書や16世紀から続く編年史料集が、貴重な役割を果たしうることを実証しようとしたものである。当初目的とした「モンスーン文書」のカタログ化は、現在、別の科学研究費において進行中であり、2018年度末には冊子形態でまとめる予定である。また研究成果としては、『大航海時代の日本人奴隷』(共著、中央公論新社、2017年)の他に、2019年刊行予定で英文図書(単著)を準備中である。

研究成果の概要(英文)：The aim of this study was clarifying the usefulness of Portuguese historical official records and compiled documentations in order to study Asian regional history. First we aimed to publish a catalogue of the Monsoon Book in ANTT in Lisbon and it is still under going. A part of the catalogue will be published in the end of the fiscal year 2018 by use of another grant of JSPS. We published a book in Japanese "Japanese Slavery in the Age of Expansion" in 2017. In the following year, a monograph "The Nanban Trade" by Mihoko Oka will be published in English.

研究分野：歴史学

キーワード：南蛮貿易

1. 研究開始当初の背景

15世紀末～17世紀初頭を人類史的特徴でとらえると、「大航海時代」がキーワードとなる。この時期、世界各地へ進出したポルトガル人、スペイン人等の情報にもとづき、様々な地域の地理、政治・交易・社会の状況について、詳細かつ膨大な記録が記された。しかしながら、これらの情報は、既翻訳文献の範囲に限られることから、本邦におけるアジア史研究の材料として、十分に活用されているとは言い難い。また、文書管理状況の問題から、将来的に利用不可能になりうるものもあり、アジア史研究資源として、より利用し易い翻訳の刊行、さらにはそれらを駆使した研究の公開、史料群のデータベース情報化等が急務であると考えられる。

2. 研究の目的

自然災害、戦争、気候等の問題により、近代以前の史料の残存状況が良いとは言い難いアジア諸地域史の研究において、それらの地域を訪れたヨーロッパ人が書き残した記録は非常に有益な情報源である。ヨーロッパ勢力ではじめて本格的なアジア進出を果たしたポルトガル人の手で残された記録は、豊かな情報を有しながらも、本邦では存在すら知られていないものが多々ある。本研究では、広範囲なアジア史研究に有益なポルトガル語史料及び史書の歴史資源化を通じて、アジアの歴史像を新たな視点から描き出すことを目的とする。

3. 研究の方法

既刊翻訳のある典籍については、とくに近年のアジア地域史研究の発展にともなう知識の高度化にもとづき、過去の翻訳上生じた誤りや注釈不足等の再検討をおこない、論文等で発表する。

日本人研究者に手軽に利用可能な邦訳・英訳等が存在しない典籍については、新たな翻訳事業に着手する。

史料館調査によってアジア史研究材料(基本的に手稿史料)を開拓する。これらの手稿史料を翻刻・翻訳して史料集として公開することが最終的な目標ではあるが、4年間での完成は困難であると考えため、研究期間中にはできるだけ多くの新出史料を用いた研究論文を刊行するとともに、各文書の詳細、雑駁な地域情報などをデータベース化して公開する。

4. 研究成果

2014年度

本年度は、8月・9月に、ポルトガルにおいて文書館調査をおこなった。具体的な調査先として、国立文書館、海外領土史料館、国立図書館を選定した。また調査対象にはポルトガルに現存する16～17世紀までに記録されたアジア関係の公文書と、同時代に印刷された古典籍を選定した。結果として、国立公文書館での調査を重点的におこない、同公文書館が所蔵するポルトガル植民地行政府インド副王政庁と本国との往復交信である『モンズーン文書』全点のデジタル画像が研究代表者が所属する史料編纂所に有償提供された。国立公文書館と史料編纂所は同年度、アジア関係史料のデジタル画像化に関して学術協定を締結し、今後も継続的な交流が見込まれる。

また、本年度廃館となり、所蔵資料が国立文書館に移管された海外領土史料館の調査では、これまで存在が知られていなかったさらなる点数の『モンズーン文書』の存在が明らかとなった。これらもまた、漸次、史料編纂所にデジタル画像が提供される予定である。

2015年度

本年度は2014年度に締結された史料編纂所とポルトガル国立文書館との学術協定に基づいて、ポルトガル国立文書館から提供された《モンズーン文書》六二巻(画像約四万点)と、昨年同文書館に包摂された海外領土史料館の日本関係史料のデジタル画像(画像約1万4000点)の整理をおこなった。とくに日本関係の情報が含まれる文書の精読をおこない、今後訳出して刊行する対象となる史料を選別した。

また研究成果を国内外の学会において積極的に発表することに努め、ポルトガルの国際学会において、2015年10月、2016年3月の2回にわたり研究報告(英

語)をおこない、国内の大規模なシンポジウム・学会報告を4回(日本語)、セミナーの研究報告(日本語)を2回おこなった。そのうち長崎県平戸市におけるシンポジウム《国際フォーラム「キリシタンの世紀と世界遺産」平戸市生月町開発総合センター大ホール》には、平戸市との共催で、ポルトガルから日葡交渉史の権威であるジョアン・パウロ・オリベイラ・エ・コスタ(リスボン新大学)教授を本科研費で招聘し、長崎県内のキリシタン文化、東西交渉の痕跡等について、欧文史料からの研究成果を一般市民に分かり易く解説する機会を設けた。

本年とくに力を注いだのは、近世初頭の日本と東アジア・東南アジアの外交上の諸問題の解明であり、この研究において、中世後期から近世初頭の東アジア海域をめぐる、西欧勢力の参入で生じた変化あるいはそれ以前からの連続性、日本人が海外で巻き込まれた抗争などについて、「モンズーン文書」を用いて詳しい考察をおこなった。成果は11月の東洋史研究会大会報告で披露され、論文としても刊行予定である。

2016年度

本年は、成果公開に向けて、研究をまとめることを軸に活動をおこなった。和文の著書として『南蛮貿易とカステラ』(共著、株式会社福砂屋、2016年6月)、『大航海時代の日本人奴隷』(共著、中央公論新社、2017年4月)を刊行した。『南蛮貿易とカステラ』では、カステラを代表とする南蛮菓子が日本へ伝わった文化的・歴史的背景を考察し、ポルトガルにおいて中世から近世期の料理本の調査をおこない、日本のカステラの起源と思われる、従来に通説とは異なる菓子のレシピを発見した。この発見は、読売新聞(2017年3月29日文化面、3月30日編集手帳)、西日本新聞(2017年5月6日)において報道され、全

国的に広い認識を得た。また『大航海時代の日本人奴隷』では、これまで知られていなかったメキシコ国家文書館・ポルトガル国立文書館のアジア・日本関係史料を中心に分析を進め、個々の具体的な事例の欠乏に因り、これまで信憑性を疑われてきた16世紀ポルトガル人の日本における奴隷貿易の詳細を明らかにした。このほかポルトガルで調査をおこない、国立考古学博物館において、これまで全く知られていなかった1640年来日マカオ使節に関する、まとまった報告書を発見した。この報告書については現在分析を進めている。

2017年度

本年は研究の総括につとめ、英文著書(単著)の準備と英文の論文発表に務めた。英文単著は2018年または翌年に公刊予定である。英語論文のうち一本は、“Nanban Trade and Shuinsen Trade in 16th and 17th Century Japan”, Perez Garcia, M. & De Sousa, L. (ed), *Global History and New Polycentric Approaches*, Palgrave Macmillan で発行され、海外からの広い反響を得ている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 15 件)

岡美穂子「僧形の宣教者：日本イエズス会の同宿と適応の限界」齋藤晃編『宣教と適応 グローバル・ミッションの近世 (仮)』名古屋大学出版会、査読あり、2018年(掲載決定)

岡美穂子「キリスト教の伝来と日本社会」上島亨/佐藤文子編『シリーズ 日本宗教史 4』吉川弘文館、査読あり、2018年(掲載決定)

岡美穂子「大航海時代」秋田茂編『グローバル化の世界史』ミネルヴァ書房、査読あり、

2018年(掲載決定)

岡美穂子「野中騷動と聖画」松川隆治・大石一久・小林義孝編『天地始りの聖地-長崎・外海の潜伏・かくれキリシタンの世界』批評社、査読なし、pp.145-166、2018年5月

岡美穂子「日本人のキリスト教受容とイエズス会の適応」『宗教文化史研究』22-1号、pp.1-20、査読なし、2018年5月

岡美穂子「ポルトガル共和国」中牧弘允編『世界の暦文化事典』丸善出版、pp.113-116、査読あり、2017年11月

岡美穂子「大航海時代の南蛮菓子 料理が繋ぐ日本とアユタヤ」『地歴最新資料』20号、第一学習社、査読なし、2-4頁、2017年9月

岡美穂子「ザビエルのアジア渡航とポルトガル国王の意図」歴史科学協議会編『知っておきたい歴史の新常識』勉誠出版、査読あり、pp.121-125、2017年6月

岡美穂子「寄稿エッセイ カステラ 名前の起源は？」『西日本新聞』2017年5月3日、査読なし、2頁

Oka Mihoko, "Nanban Trade and Shuinsen Trade in 16th and 17th Century Japan", Perez Garcia, M. & De Sousa, L. (ed), *Global History and New Polycentric Approaches*, Palgrave Macmillan, 2018, pp.163-182. 査読あり

DOI.1007/978-981-10-4053-5

11, 岡美穂子「布教と貿易」五野井隆史監修『キリシタン大名』宮帯出版社、2017年、査読あり、75 - 101頁。

12, Oka Mihoko, "Elusive Islands of Silver: Japan in the Early European Geographic Imagination" Kaeren Wigen, Sugimoto Fumiko, Cary Karakas eds, *Cartographic Japan: A History in Maps*, Chicago University Press, 2016, 査読あり pp. 20-23.

13, 岡美穂子「長崎外海のカクレキリシタン信仰に見る托鉢修道会の布教活動」杉本良男編『キリスト教文明とナショナリズム 人類学的比較研究』風響社、2014年、査読あり、81 - 104頁。

14, 岡美穂子「日本人のキリスト教受容と

宣教師の装束」武田佐知子編『交錯する知衣装・信仰・女性』思文閣出版、査読あり、2014年、112-132頁。

15, 岡美穂子「キリシタンと統一政権」藤井讓治編『岩波講座 日本歴史 第10巻 近世1』岩波書店、査読あり、2014年、171 - 204頁。

[学会発表](計 28件)

岡美穂子「南蛮菓子の文化的背景」帝京大学経済学部経済史研究セミナー 2018年2月

岡美穂子「桃山時代の日本食文化の転換 ヨーロッパとの邂逅から」きごさい(神奈川近代文学館)2018年2月

岡美穂子「大航海時代の日本人奴隷」咲耶会(大阪大学東京サテライトビル)2017年9月

岡美穂子「大航海時代のイベリア半島とアジア・日本」神奈川県高等学校教科研究会社会科部会歴史分科会高大連携講座「近世のヨーロッパをどのように学ぶか」(横浜商業高校)2017年7月

Mihoko Oka, "The Commodity in the Nagasaki-Macau Trade from the Late 16th to the Early 17th Century" ICAS CHAING MAI, panel: Japan in the Age of Civil Wars and trading networks in Asia-focusing on import and export of military supplies 2017年7月

Mihoko Oka, "Transition of the Jesuit's Attire in 16th century Japan", *Global Costume: Kosode, Dofuku, Banyan, Kebaya and Japanese Rok 1500-1850. A dialogue of Global Circulation between Art History, Economy and Material Culture* (九州大学), 2017年9月

岡美穂子「日本人のキリスト教受容とイエズス会の《適応》」日本宗教文化史学会(京都女子大学)2017年6月

岡美穂子「銀の流通 銀が結ぶ世界の交易」多摩美術大学公開講座「世紀を歩く美術と文化 VII:16世紀」2017年6月

岡美穂子「世界の中の石見銀山」石見銀山世界遺産登録10周年記念シンポジウム(日本消防会館)2017年3月

岡美穂子「ポルトガル古文書に見る南蛮漆器に関わるモノの記録 ガルシア・ダ・オルタ『インド薬草・薬物対話集』(1563)を中心に」東京文化財研究所主催「公開研究会 南蛮漆器の多源性を探る」2017年3月

11 Oka Mihoko "The Sekaizu Byobu(folding screen of map of the world) as sources of geographical information and material culture", Sources in Global History"/ GHC Joint Seminar(AAS, the University of Tokyo), 2017年1月

12 Oka Mihoko "Cultural History of Foods-diffusion of Iberian sweets in Asia-"公開講義 復旦大学文史研究院、2016年12月

13 Oka Mihoko "Nanban Trade and Shuinsen Trade in 16th and 17th Century Japan", The 4th EURASIA TRAJECTO conference(EHESS, Paris)2016年11月

14 岡美穂子「救済 手段としてのキリシタン宗教画 現世利益と昇天への道」Frames and Framings in a transdisciplinary perspective II 'Creating Worlds' in Classical Knowledge Systems フレームの超越文化学(二)世界認識と古典知(学習院大学)2016年8月

15 Oka Mihoko "The Nanban Sweets and the Trade -from the view of global history-"東京大学東洋文化研究所GJSセミナー、2016年7月

16 岡美穂子「日本 「新仏教」としてのキリスト教受容説は成立可能か(試論)」共同研究研究会「近世カトリックの世界宣教と文化順応」(国立民族学博物館)2016年7月

17 岡美穂子「近世初頭の貿易と南蛮菓子」文京アカデミア(文京区役所)2016年6月

18 岡美穂子「カステラのルーツと南蛮貿易」関東イスパニア語会(主婦会館)2016年4月

19 Oka Mihoko "Mazu Faith in Japan and the Virgin Mary as Goddess of the Sea in and around Nagasaki Province" International Symposium: Faith in Mazu, CCCM, Lisbon, 2016年3月

20 岡美穂子「高瀬弘一郎著「キリシタン布教における適応」を読む」国立民族学博物館共同研究「近世カトリックの世界宣教と文化順応」2015年12月

21 岡美穂子「17世紀前半東アジア海域におけるスペイン・ポルトガル勢力の紛争と外交 マカオ事件(1608)とアユタヤ事件(1628)をめぐって」東洋史研究会年次大会(京都大学)2015年11月

22 岡美穂子「キリシタン復活前後の絵画史料にみる長崎・外海のキリシタンの特徴」国際フォーラム「キリシタンの世紀と世界遺産」平戸市生月町開発総合センター(大ホール)2015年11月

23 Oka Mihoko "Analysis of the texts and backgrounds of prayers among the Kirishitan in the Sotome region of Nagasaki", International Symposium China/Macau: Translation and Interpretation - Past and Present, CCCM Lisbon, 2015年10月

24 岡美穂子「アジアにおけるザビエルの活動を支えた商人、修道士たち」国際文化フォーラム:ザビエルと戦国日本、名古屋学院大学クラインホール、2015年7月

25 岡美穂子「外海地方出津の聖画からみるキリシタン信仰」国立民族学博物館共同研究「近世カトリックの世界宣教と文化順応」2015年7月

26 岡美穂子「外海地方出津のキリシタン聖画考」第54回長崎・キリシタン文化研究会(長崎歴史文化博物館)2015年6月

27 岡美穂子「大航海時代と石見銀山」石見銀山遺跡特別講座「グローバル化をもたらした日本の銀」2015年3月、ビジョンセンター日本橋

28 Oka Mihoko "Portuguese Merchants from Macao in the 19th Century Japan and Their Family Networks" Second Eurasia Traject Conference, November 28-29, 2014, EHESS, Paris.

〔図書〕(計 1 件)

ルシオ・デ・ソウザ/岡美穂子『大航海時代の日本人奴隷』中央公論新社、2017年、総頁数201頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡美穂子 (OKA, Mihoko)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号: 30361653